

令和6年第13回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和6年12月11日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 田島 雅子 三尾 和樹 橋本 あみる

事務職員 三宅事務局長・花田教育次長（兼）学校教育課長・森事務局次長・松井文化スポーツ部長・吉村文化スポーツ部次長（兼）鉱物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長・伊藤教育企画課長（兼）施設計画推進室長・松原教育研修所長・安江幼児教育課長・青木発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・園原阿木高等学校事務長・渡邊文化スポーツ部対策官・青木生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長・小池文化振興課長（兼）市史編さん室長・草野図書館長（兼）蛭川済美図書館長・高井中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第6号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
第2	報第7号	中津川市教育支援委員会の結果報告について	承 認
第3	議第29号	令和7年度中津川市教職員の定期人事異動方針について	承 認

■教育長 本日は山本委員が欠席ですが、3名の委員の出席を確認し、ただいまから令和6年第13回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続いて、日程第3、教育長報告を行います。前回以降に出席した主な行事を中心に報告します。

11月14日は校長研修会と、5年ぶりに開催された地元医師会や市民病院に勤務する医師さんらとの懇談会「中津川市医療懇談会」に出席しました。19日は名古屋市苗木野外教育センターの所長と副所長が、今年度の宿泊研修の受け入れが終わったことの報告のために来庁してくださいました。20日は教頭会に出席し、午後は多治見市立根本小学校で開催された東濃地区特別支援教育研究会の発表会に参加しました。22日は東京で開催されたB&G全国教育長会に松井部長と出席しました。24日は中津川歌舞伎フェスティバルに出向きました。7代目市川団十郎が、興行先から中山道経由で江戸に戻る途中、盗賊に狙われた危機を落合宿の人々が救った史実に基づく新作歌舞伎で、見ごたえ十分の大作でした。

27日からは教職員定期人事異動に関する各学校長との懇談をスタートし、3日に分けて28名の校長との懇談をしました。28日は市議会12月定例会の初日本会議、12月に入り、2日は東濃地区教育長会に出席しました。4日は阿木高校を訪問しました。在籍生徒数が少なくなりましたが、一人一人の生徒の実態に寄り添う丁寧な指導が為されていました。5日は校長研修会に出席しました。年末が近づき、つい気持ちは来年度に向かってしまいがちですが、「今年度はまだ3分の2を終えたばかりであること」「まだまだ出来ることや、やるべきことが足下にあること」「それらに実直に向かう姿勢の大切さ」などについて、いつもどおり優しく助言しました。7日はつくしんぼのクリスマス会に出席し、今年もサンタさんの大役を務めてきました。9日、10日は市議会一般質問に出席しました。また、昨日は市職員組合保育士部会の代表の皆さんとの懇談をしました。

続いて今後の主な行事です。12日は県教育委員会との人事懇談に出席します。

13日は文教民生委員会と教頭会に、夜は加子母教育協議会のご要望に沿って、こども園、小中学校にお子さんが在籍している保護者の皆さんに、学校施設等適正配置計画についてご説明し、ご質問やご意見をいただいてきます。16日は県教育委員会との人事懇談の2日目に、17日は予算決算委員会に、20日は中津川市消防職員意見発表会に、23日は市議会最終日にそれぞれ出席します。

1月に入り、6日は東濃地区小中校長会代議員会にお招きいただいています。10日は岐阜県都市教育長会役員会、11日は消防出初式、12日は「二十歳の集い」、16日は蘇南高等学校の地元市町村協議会などに出席する予定です。

私からは以上です。次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。
教育委員会事務局からお願いします。

三宅事務局長。

■事務局長 前回以降の主な出席行事について報告します。

11月14日に校長会、15日に市指名審査委員会、19日に山口区長会との対話集会、20日に教頭会、21日に定例記者会見、22日に三役部長会、26日に幼児教育保育施設運営協議会と末松先生とのWEB打合せ、12月2日に大磯町教育委員会に出向き、令和7年に30周年を迎えるGSSSの参加生徒募集のお願いに行きまわりました。大磯町とは姉妹都市ですので、その縁でお伺いしました。3日には文部科学省に出向き、同様にGSSSの支援のお願いと、それとは別に市長に同行して、坂本学校給食共同調理場、各小中学校の特別教室へのエアコン設置、今後の統合に係る施設整備への支援の要望に行きまわりました。5日に校長会と落合神坂小中学校統合準備委員会、6日に市PTA連合会との対話集会、10日に職員組合幼保教育部会との面談に出席しました。

また、12月市議会が始まりました。11月28日に本会議初日、29日に一般質問の締切、12月9日と10日に一般質問が行われました。今後は13日に文教民生委員会、17日に予算決算委員会が行われ、23日に本会議の最終日を迎える予定です。教育委員会への一般質問は、3名の議員からあり、糸魚川伸一議員からは「がん対策について」、田中愛子議員からは「学習支援について」と「こども誰でも通園制度について」、黒田ところ議員からは「子どもたちとSNSやお金の利用方法やあり方について」の質問がありました。

今後の予定です。今日12月11日に総合教育会議、13日に教頭会、19日に定例記者会見、20日に市指名審査委員会、1月14日に市有財産活用検討会が予定されています。

■教育長 文化スポーツ部からお願いします。

松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

11月17日、第71回中山道東濃駅伝大会の開会式が中津川駅前で開催され、一般と大学男子チームがゴールの多治見市役所に向けて元気に出発しました。今回は全51チームのエントリーがありました。18日、苗木城跡整備委員会が開催されました。苗木城は昭和59年度から継続的に石垣の修復や城内整備を図っていますが、今後の整備方針など基本計画策定に向けた協議が始まったところです。19日、第78回国民スポーツ大会のウェイトリフティング競技61kg級スナッチの部門で2位になった中津高校3年生の渡邊知翔（はると）さんの市長への報告会

が行われました。20日、全日本空手道選手権と全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会に出場される市内の小学生5名、中学生1名、指導者1名の激励会が開催されました。22日、B&Gの全国教育長会議に同席させていただきました。同日、第16回全日本少年春季軟式野球大会に出場する中津第2クラブチームの激励会が開催されました。中津第2クラブは市内の9中学校の生徒で構成をされているということでした。23日、岐阜県地歌舞伎伝統芸能フェスティバルがぎふ清流文化プラザで開催され、中津川市の阿木歌舞伎保存会、恵那文楽保存会、加子母歌舞伎保存会の3団体が岐阜県のフェスティバルの千秋楽を飾ってくれています。24日、吉例中津川歌舞伎の公演が行われ、本日欠席ですが、山本委員も出演され、多くの歌舞伎ファンを魅了しました。なお、私もこれには行けていないのですが、DVDが発売されるということですので、ぜひそれを見たいと思っております。ご入用があれば、申込書等もありますので、よろしくお願いします。

同日、清流の国ぎふ文化祭2024国民文化祭の閉会式が開催され、市内からはゆきこま会、蛭川の杵振り保存会の皆さんも出演されました。国民文化祭は42日間の開催で、その間に約330を超える事業が県内各地で開催され、盛会のうちに閉幕しました。その間、教育長におかれましては本当に多くの土日のイベントに顔を出していただきました。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

11月29日、松田宣浩氏の野球講演会が中津川センターロータリークラブ50周年記念事業として開催され、会場は野球少年や高校野球部員で満席の状態でした。翌30日には少年野球教室も中津川公園夜明け前球場で実施いただいております。

30日、第4回中津川市子育て親育ちシンポジウムが文化会館で開催され、「守ろう子どもたちの笑顔」をテーマに、浜松学院大学学長の今井昌彦先生の講演があり、「スマホ、SNSとの適切なかかわり方を学ぶ」と題した講演をいただきました。スマホの依存性等について、データを用い、分かりやすい内容となっております。12月1日、坂下歌舞伎特別公演が開催され、坂下の子供歌舞伎役者の熱演に大きな拍手やおひねりがステージいっぱいにも贈られていたのは、大変印象に残っております。

今後の予定です。12月14日、中津高校の野球部出身で現在名城大学野球部の監督と侍ジャパンの大学代表チームのコーチに就いている安江均さんによる高校野球教室を、中津商業高校で市内の高校野球部員を中心に開催していただくこととなっております。同日、ウォーキング教室&かけっこ教室が体育協会の社会貢献事業として中津川公園で開催されます。15日、市民芸術鑑賞事業として、都留文科大合唱団の演奏会が開催されます。お手元にチラシをお配りさせていただいてお

ります。２２日、市民展の表彰式がございます。なお、１４日からこのにぎわいプラザ５階にて開催させていただきますので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

１月１２日、二十歳の集い、１９日、文化財防火デーの防火訓練が加子母大杉周辺で開催される予定になっております。以上です。

■教育長 ただいまの報告について、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
橋本委員。

■橋本委員 事務局長の報告に対して質問です。１月１４日の市有財産活用検討委員会はどのようなことを検討されるのですか。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 まだ資料をいただけていないので詳しいことは分かりませんが、この一年間の進捗状況等について報告があると思います。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 教育委員会が過去に管轄していた施設も市有財産の中にあると思います。ぜひ活用していただけますよう議論をお願いします。

■教育長 ありがとうございます。他はいかがですか。

田島委員。

■田島委員 教育長の今後の主な予定で、１２月１３日、加子母教育協議会の保護者との懇談があります。ここでいただいたご質問やご意見をまた教えていただきたいと思います。コロナ禍前ですか、小中連携の話がありました。それから話が何も聞こえてこないのか心配しています。よろしくお願いします。

■教育長 その後の進捗や今回この会がもたれる経緯について、伊藤課長から説明をお願いします。

伊藤教育企画課長。

■教育企画課長 これまで加子母の教育協議会では、小中一貫の義務教育学校を念頭に、地域で協議されてきました。今年度に入り、私も含めて一度加子母に行きました。義務教育学校ということも含め小中一貫のメリット、デメリットや、統合など、これから先どういうあり方があるかを広く示してほしいということでした。まずは協議会の皆さんとの勉強会という形で、そういった内容でご説明してまいりました。その中でどんな方法が良いのかなどいろいろな意見が出されましたが、協議会の中だけでの話なので、協議会としても地域や保護者の皆さんにしっかり説明することが大事だということで、今回、同じような内容になりますが、１３日に説明に行ってみます。そのときにまたいろんな意見が出るとと思います。保護者の皆さんがどう思ってみえるかがよく分かると思います。私どもはそれを方針としてこ

れから進めますし、より地域の皆さんといろんなところで話を深めて決めていただければと思っています。またご報告させていただきます。

■教育長 田島委員。

■田島委員 事務局長の報告について、12月6日の市長との対話集会は市P連となさったということですが、覚えている範囲で内容を教えてください。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 当日、市P連の役員10名ほどにお集まりいただきました。その中で、施設への要望や、市長との直接対話の集会になるので今後も続けていってほしいという声がありました。

■教育長 田島委員。

■田島委員 中津川はまだ市P連の活動は盛んに続いていますか。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 中津川はまだ全員加入で活動してみえます。ごく一部加入していない方はみえると聞いています。

■教育長 ほかはいかがですか。

田島委員。

■田島委員 文化スポーツ部の11月20日の空手激励会ですが、空手には流派があり、子供金メダルするときにもその関係で少し困ったことがあります。今回の流派は何ですか。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 空手の闘心館です。田中克司さんが指導している団体です。極真とは違うカテゴリーだと認識しています。

■教育長 ほかによろしいですか。

ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。本日、提案する議題について、事務局から説明します。

森事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 それでは、日程第1 報第6号「専決処分の承認を求めることについて」提案説明をお願いします。

伊藤教育企画課長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
三尾委員。

■三尾委員 普通財産という言葉を知ると、半永久的というか、わりと長い間所有するものをイメージしますが、ことパソコンについては、今使っているのが令和2年度に調達して5年を経過するとあります。今度購入するものについては、次の経過更新時期がいつ頃になりますか？

■教育長 伊藤教育企画課長。

■教育企画課長 タブレットパソコンは今後も5年の経過を目途に更新する予定です。

■教育長 ほかはいかがですか。

田島委員。

■田島委員 令和2年、コロナ禍が始まったときに計画があつて、急遽という部分もあったと思います。それで全国的に導入されました。学校に訪問したとき、ちょうどタブレットで学習しているところを見させていただきましたが、タブレットにはそぐわないようなものもありました。教師用の指導書がありますが、タブレットの教師用指導書はできましたか。最初はなくて、加子母の学校の若手の先生方が、自分たちで研究や集まって話し合い、良いやり方を考え、ほかの学校の先生方にも講習をしたという話を聞きました。まだ教師用の指導書はないという話を伺っていますが、どのようなになっていますか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 ICTの活用にかかわっては、県教育委員会や市の教育委員会が示す活用の形でやっています。一つ一つの教材にQRコードがあり、それを読み取るとこういう資料にたどり着くというものが、教師用の指導書の中に位置付けられていますが、1単位時間の中でこういった使い方をしていくといった具体的なものについてはまだ出ていません。先生たちを対象にした研修会等で、ICTを活用した授業のあり方について随時研修を行なっています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 今のお話では、しっかりはまり込んでない部分がまだまだありそうですね。5年の間にはコロナ禍もあったので、なかなか皆さんが集まらなかったと思いますが、これからの5年で形を作って有効に使えるように、中津川だけでも進めたいと思います。

■教育長 ご助言ありがとうございました。

橋本委員。

■橋本委員 他市と共同購入で価格を抑えることは以前から聞いていたので承知しています。取得金額2億9千万円で、1台当たり5万円ぐらいだと思います。5年前に購入した時と比べて金額は変わっていますか。その内、市が負担する金額はいくらですか。また、一般の家庭だと下取りをしてもらったり、逆に処分費がかかったりしますが、それは別途かかるのですか。

それから、うちの子はC h r o m e b o o kをすごく快適に使っていて故障もないのですが、5年間経って故障具合やまだまだ使えそうかなど、分かれば教えてください。

■教育長 伊藤教育企画課長。

■教育企画課長 前回の取得金額は約4万8千円でした。今回の方が少し安価になっています。2つ目、市の負担は、この事業では3分の2を国が県に基金として配り、それを県から市にいただけます。3分の2ですので、2億2000万円のうち1億4000万円強を負担していただき、残りの額が市の負担となります。3つ目、下取りは、古いものは今回の調達業者で処分をしていただきますが、事前にヒアリングをしたところ、今回も含めて、無償で処分してくれるという条件となっています。

5年間の故障は、大体1%ぐらい毎年故障もしくは破損が出ており、今年5年目になって少しそれが上がって2%ぐらいになっています。当初に少し予備を持っていたのですが、もう予備がほとんどなくなってしまい悩んでいるところです。とは言え、まだまだ使えるものも多いので、今回処分するものの中から程度のいいものについては市の方で保管をし、特に児童用の端末とその予備端末しかないので、先生方や図書館の司書や校内教育支援センターで使うパソコンとして500台程度を残して使う予定にしています。

■教育長 確認ですが、国の補助は端末1台当たり納入価格の3分の2、上限4万5千円ですか。

■教育企画課長 そうです。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 市の負担分が結構高額といえますか、5年に1回このようなことが起きますが、予算の歳出については、5年間貯めて支出をするというイメージでしょうか。

■教育長 予算の編成の仕方について、説明をお願いします。

伊藤教育企画課長。

■教育企画課長 前回も同様ですが、補助事業として出てくるのが、毎年何台か更新するより複数年度でということが多いです。年数が5年間なら5年間貯めて、一

括で更新するという予算取りをしています。

■教育長 ほかはいかがですか。

それではご意見ご質問がございませんので、ご異議がなければ、報第6号については承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 それでは、報第6号「専決処分の承認を求めることについて」は、原案どおり承認とします。

続きまして、報第7号「中津川市教育支援委員会の結果報告について」、提案説明をお願いします。

松原教育研修所長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
田島委員。

■田島委員 このまとめの資料の1ページに成果と課題があります。今までこういうものがなかった気がします。皆さんの行動というか流れがとても分かりやすくありがたく思いました。それと、20名が普通教室に戻れた、行けるようになり、去年より多いということですが、これは先生方の手厚い指導や目をかけたことの成果だと思ってよろしいですか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 特別支援学級、特に自閉情緒学級においては、小学校、中学校の義務教育の間に通常学級に戻って卒業していくところを目標としておりますので、そこに向けた丁寧な支援を手厚くやってくださっている結果だと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 中学から高校に行くときの内申を非常に心配していらっしゃる親御さんもおられるので、これは本当にすばらしいことだと思います。ありがとうございます。

もう一つ。つくしんぼとどんぐりの件です。この間もクリスマスで行かせていただきましたが、毎年どんどん増えていきますよね。つくしんぼ、どんぐりに行って、1年生に通常学級に上げられるパーセンテージはどれくらいでしょうか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 具体的な数字を把握していませんので、確認してご報告します。

■教育長 確認して報告をお願いします。

ほかはいかがですか。

橋本委員

■橋本委員 とても大事な会だと思います。課題のところで「会に参加している園長先生方や発達支援センターの立ち位置が難しい」ということで、「関わり方を再検討する必要がある」と書いてあります。園長先生や発達支援センターの職員の方は、身近で対処するお子さんのことを見ているので、すごく重要な方だから参加していると思いますが、立ち位置が難しいとなると、せっかくの情報や経験などの見地を生かせずもったいないと思います。再検討内容として、どのように改善されるというのがありますか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 課題として書かせていただきましたが、第2回教育支援委員会が今回1日になったことや、医師や小学校、中学校の先生が発言の中心になってきますが、今回、司会の先生が「それぞれの専門の先生の立場から」と折を見て振ってくださったので、今後もそのように上手に振っていただくところを、事前に教育委員会と司会の先生が打ち合わせを行いながら、それぞれの先生方に来ていただいている意義のある会にしていきたいと思っています。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご意見、質問がございませんので、ご異議がなければ、報第7号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 報第7号「中津川市教育支援委員会の結果報告について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第29号「令和7年度中津川市教職員定期人事異動方針について」、提案説明をお願いします。

花田教育次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員　しばらく前から、若手の先生方が多くて50代のベテランの方々が少ないという話を聞いておりましたが、今回はどんなバランスですか。

■教育長　花田教育次長。

■教育次長　中津川市には潤沢な職員がいるわけでありませんで、どうしても新規採用の職員に頼らざるを得ない状況もありますが、全体的には現在の職員配置を見ると、ベテランの職員もたくさんおり、定年の延長等も行われておりますので、若手ばかりの学校というよりむしろ年配の、ベテランの多い学校の方が増えている印象です。

■教育長　田島委員。

■田島委員　中津川は他の市町村に比べて、定年になってからの先生方が、市の給与で小中学校にて随分手伝っていらっしゃり、しかもその期間が長くて、私の同級生ぐらいの方々もまだ頑張ってくださっていることを聞いています。

定年を迎えたベテランの方が、若い方、現役の方になかなか話ができない、自分たちで培ったものを伝えることができないという話を少し聞いております。素晴らしい教員人生を送って、自分のものにしたものもたくさんあると思います。そういうものを出して行ける機会を設けていただけるといいと思いますが、いかがですか。

■教育長　花田教育次長。

■教育次長　ご指摘のとおりベテランが持つ経験は、中津川市としても大きな財産だと思っています。一方で、若者が持つICTの技術なども今後大切になってきます。学級の経営や教科の指導などについてはベテランの方から若手が学ぶ、そして、ICTについてはベテランが若手から学ぶ、という相乗効果で学校全体の教育力を高めていると学校長からは聞いています。引き続きベテランの先生方の培ってきた技術や経験をしっかりと学校に生かして行きたいと考えています。

■教育長　田島委員。

■田島委員　培ってきた素晴らしいものがあるベテランの先生方が、遠慮することなく自分の意見を発することができる土壌を作っていただくと、嬉しく思います。よろしくお願いします。

■教育長　三尾委員。

■三尾委員　全国的に先生のなら手が少ない、教員の希望が少ないということで、国も一生懸命働き方改革等で「ブラックな職業じゃないよ」ということを主張していますが、それでも少子化などの問題もあって、だんだん教員のなら手がなくなってくる時代が来ると思います。かつては5倍や3倍あった倍率も、もしかして1を切ることが起こる時代も来ると思います。先生になりたい方は、きっとみんな教員になるセンスもいろいろな力もお持ちだろうと思います。中津川市はどの学校でも

若手の育成を志してきましたが、これからも一層、若いなりたての先生を育てる必要が迫られる時代が来ると思いますので、頑張っていたきたいと思います。

■教育長 花田教育次長。

■教育次長 三尾委員からのご指摘のとおり本当に厳しい状況があります。若手を育てることももちろんですし、その一方で、教員を目指す若者を私どもが積極的に情報発信して、増やしていくことを大切にしていきたいと考えています。ありがとうございます。

■教育長 後ほどの協議会でもその辺りも資料等を準備して次長からご説明する予定です。他県では採用倍率が1を切ったという事例が出てきています。大変深刻な状況です。

田島委員。

■田島委員 今の話を受けて、昔は「医者様と先生様」と、先生が「様」と呼ばれていた時代がありました。それは、自分たちが出来ないことをやってくれるということからだと思います。こんな言い方は変ですが、医者も先生も非常に崇められて尊敬されていた時代がありました。

先生方がものすごく頑張っておられます。働き方改革と言われて、時間も短くなっている、それはそれとして、本当にいろんな分野で頑張りを勉強しているだけではなくて、今は子供の生活にまでかかわって、家でやっていることまで学校の先生が教えなければいけない時代になってしまいました。こんなに頑張っていることを保護者の方々、大人の方々にアピールしていただければ、また違う先生像、憧れの先生像ができてくる気がします。本当に、何で先生たちはこんなに頑張っているのに、それをアピールしないのかといつも思っています。

■教育長 ありがとうございます。学校の職員がこんなに頑張っていることを世間にたくさん流布していただけるとありがたいと思います。

ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第29号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第29号「令和7年度中津川市教職員定期人事異動方針について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告をお願いします。
森事務局次長。

〔 事務局から次回日程の報告 〕

■教育長 次回は、令和7年1月21日、火曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4－1会議室にて定例会を開催いたします。

以上で、令和6年第13回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

〔 閉 会 （午後2時32分） 〕